

地方創生関連事業 評価シート (1) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する

指標	数値目標	R7実績
第1次産業新規就業者数	5年間で25人	4人
起業及び商店承継店数	5年間で10件	3件

事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)						施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価	
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率		事業の評価	外部有識者からの意見
1 創業者、第二創業者の 支援	199,413	創業・第二創 業取組件数	5件	R12.3まで	3件	3件	60%	企業振興促進事業補助金により 新規創業2件・第二創業1件を支 援し、5年目標5件に対し初年度 で60%の進捗を達成。借入金利 息・保証料補給や店舗家賃補助 を通じ、地域経済の活性化に寄 与。商工会と連携した相談業務 を継続的に実施し、新たな創業 者・第二創業者への伴走支援を 強化することで、町の活性化と 新規事業の定着促進に繋げてい く。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
2 新商品の開発と販路拡 大支援	100,000	新商品の開発 件数	3件	R12.3まで	1件	1件	33%	販路拡大補助金の活用により1 社が食品展示商談会へ出展し、 道産食品のPRと新たな流通経路 開拓に繋がった。補助制度の周 知拡大と、農商工連携による商 品開発を促進し、地場産品のブ ランド化と都市圏マッチングを さらに強化する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
3 起業・経営支援	0	起業相談件数	5件	R12.3まで	4件	4件	80%	商工会のワンストップ相談窓口 を通じ、経営・財務・販路開拓 等の専門アドバイスを4名に提 供。5年目標5件に対し、初年度 から堅調な利用実績。商工会と の連携を継続強化し、起業セミ ナーの定期開催や情報発信を通 じ、潜在的な起業希望者の掘り 起こしを進める。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (1) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する

指標	数値目標	R7実績
第1次産業新規就業者数	5年間で25人	4人
起業及び商店承継店数	5年間で10件	3件

事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)						施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価	
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率		事業の評価	外部有識者からの意見
4 6次産業化の推進	1,518,000	6次産業化取組件数	3件	R12.3まで	1件	1件	33%	6次産業化推進事業補助金の活用により設備投資1件を支援し、農林業の振興・経営改善に寄与。5年目標3件に対し初年度1件と順調な滑り出し。ホームページ・広報による補助金活用周知を強化し、商工会と連携した相談業務を通じて新規取組件数の拡大を図る。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
5 1次産業後継者及び新規就業者等の育成	2,210,000	農水産業における後継者及び新規就業者	20人	R12.3まで	4人	4人	20%	農業担い手対策と漁業担い手支援により、初年度から農業就農祝い金2人・規模拡大3人・住宅支援4人、漁業経営継続支援2人と幅広い支援を展開できた。免許取得・漁船購入経費補助等の負担軽減策を継続し、3年間の経営継続支援により新規自立経営者の定着を図る	・有効的であった ・有効的とは言えない	
6 外国人育成就労受入企業の支援	4,200,000	育成就労受入件数	15件	R12.3まで	14件	14件	93%	水産加工2事業所5名、漁業5事業者9名の受入支援により、深刻な労働力不足の解消と水産業振興に大きく貢献。5年目標15件に対し初年度14件と高水準。受入規模の拡大に応じた助成額の見直しを検討し、町内漁業・水産加工業の安定的な人材確保を継続的に支援する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (1) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.1 活発な産業づくりにより元気なまちを創生する

指標	数値目標	R7実績
第1次産業新規就業者数	5年間で25人	4人
起業及び商店承継店数	5年間で10件	3件

事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)						施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価	
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率		事業の評価	外部有識者からの意見
7 企業誘致及び異業種間連携	20,000,000	誘致する企業等の数	1社	R12.3まで	2件	2件	200%	企業立地助成事業により事業場立地補助2社を支援し、5年目標1社を初年度で既に上回る成果。地域経済の活性化に大きく寄与。HP・広報を通じた制度周知を継続し、サテライトオフィスやワーキングスペース整備、ワーケーション事業の検討を進める。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
8 雇用機会の拡充	5,280,000	新規雇用拡充数 (補助決定者数)	25人	R12.3まで	11人	11人	44%	雇用促進助成補助により10事業所11名の新規雇用を支援し、5年目標25人に対し初年度から44%の進捗。雇用拡大と定住促進に着実に寄与。補助対象に障がい者を含めた拡充を継続し、商工会と連携した相談業務とパート雇用支援により幅広い雇用環境を整備する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (2) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する

指標		数値目標		R7実績							
転入者増加率		1.05倍 (令和6年対比)		0.99倍							
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)						施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価		
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率		事業の評価	外部有識者からの意見	
9	既存資源の活用	3,206,000	空き家利用戸数	30戸	R12.3まで	16戸	16戸	53%	空き家バンク契約成立10件・改修補助6件、未利用地売却6件と、両輪での施策展開により利活用が進展。5年目標30戸に対し初年度16戸と高水準の達成。固定資産税通知時の制度周知を継続し、未利用地等の調査・選定を進めるとともに売却対象の拡大により資産活用を推進する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
10	移住定住の促進	2,055,456	移住相談件数	10件	R7~R11各数値	4件		40%	東京・大阪の移住フェアで計40名34組へPRし、パンフレット2,850冊配布、移住相談4件を獲得。各年目標10件に対し初年度から堅調な進捗。移住検討者と直接コミュニケーションが取れるイベントへの出展を強化し、定住促進住宅の管理運営を通じ受入体制を整備する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
11	魅力ある地域の創出	114,964,729	観光客入込数	180,000人	R11年度	193,759人		108%	海鳥フェスティバル400名、パラフェスティバル2,000名、秋まつり3,000名等のイベントで観光入込18万人を達成。海鳥センターのDX化も進展。行事内容の見直しによる来館者増加策と、観光協会・支部との連携強化、自然環境に特化した研究事業の充実を継続する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (2) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.2 多くの人が集い魅力を感じられるまちを創生する

指標		数値目標	R7実績								
転入者増加率		1.05倍 (令和6年対比)	0.99倍								
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)				施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価				
		指標	指標値	目標年月	R7実績値		R7~R11計	達成率	事業の評価	外部有識者からの意見	
12	関係人口の創出・拡大	133,496,682	ふるさと納税 寄付額	500,000 千円	R11年度	262,420 千円		52%	個人版ふるさと納税2億5千万円達成、ガバメントクラウドファンディングで海鳥249%・バラ園176%の寄付獲得、企業版でも5社2,000千円獲得と顕著な成果。R7年10月の制度改正による減少を踏まえ、リアルイベント参加とSNS活用による効果的なシティブロモーションで新規寄付者を創出する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
13	シティブロモーションによる羽幌の魅力向上	12,070,816	LINEアカウント登録件数	2,000 件	R11年度	1,737 件		87%	LINE公式アカウント登録1,737件、メールマガジン全29回配信により、ふるさと納税リピーター割合が前年比6%増と着実に成果が出ている。食産業をテーマとした差別化PRを進め、地域応援サポーター制度による学生の郷土愛醸成と将来的な関係人口化を目指す。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
14	若者の定住・UIJターンの促進、地域への定住・定着を図る取組	1,192,000	町外から移住し、町内事業所等に就職した人数	2 人	R7~R11各数値	3 人		150%	奨学資金返還支援で12名を交付決定、うち2名が町外から移住・町内就職し、定住継続率92%と高水準を維持。移住・定着促進に着実に寄与。広報誌・ウェブサイトを活用した制度の情報発信を強化し、新規申請者および移住希望者へのアプローチを多角的に展開する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
15	地域おこし協力隊制度の活用	7,161,962							スポーツ振興1名採用に成功するも、水産業振興は応募者なし、まちづくり応援も不採用と、人材確保に苦戦。募集設計の抜本的見直しが必要な状況。有償広告の活用や募集設計の再設定を進め、自治体向け研修への参加により制度理解を深めて募集力を強化していく。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (3) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.3 子育てのしやすい優しいまちを創生する

指標		数値目標		R7実績						
総人口のうち年少人口の割合		R11数値 9.7%		7.2%						
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)					施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価		
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計 達成率		事業の評価	外部有識者からの意見	
16	出産までの支援	2,901,752	合計特殊出生率	1.66%	R11年度	1.12%	/	67%	母子手帳交付時等の保健指導、不妊治療助成3名中2名妊娠、新生児16人へ夢のフトン贈呈と多様な支援を展開。一方、合計特殊出生率は1.11と目標1.66に未達。北海道要綱改正に伴う費用助成拡大と、妊産婦安心出産支援・不妊治療助成の継続により、経済的・精神的負担軽減を図る。	・有効的であった ・有効的とは言えない
17	子育て環境の充実	175,898,536	未就学児施設(サービス)利用率	80%	R11年度	91%		114%	未就学児施設利用率91%と目標80%を大きく上回り、待機児童ゼロを維持。医療費無償化の18歳までの拡大とあわせ、子育て世帯への支援が着実に成果を上げている。医療費無償制度と乳幼児相談を継続し、SNSを活用した子育て情報の発信を強化することで、切れ目のない支援体制を維持していく。	・有効的であった ・有効的とは言えない

地方創生関連事業 評価シート (4) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する

指標		数値目標		最終実績							
地元高校在学生徒数		R11数値 190人		156人		(羽幌高校142人、天売高校14人)					
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)						施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価		
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率		事業の評価	外部有識者からの意見	
18	地元高校への進学者確保	18,836,742	町内中学生の 町内高校への 進学率	80%	R11年度	68%		85%	羽幌高校魅力化支援・進学経済 支援・天売高校生徒募集事業を 展開し町内中学生の町内高校進 学率67.8%を達成も、5年目標 80%にはなお差がある。地元高 校との連携を強化し、魅力化事 業や寮・下宿運営の継続により PR活動と受入体制構築を一層進 めていく。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
19	町内義務教育校におけ る教育DXの推進	5,120,258	デジタル教科 書の利用率	100%	R11年度	100%		100%	1人1台端末の安定運用、デジタ ル教科書の町内全校での利用に より、映像・立体画像を活用し た学習で児童生徒の理解度が深 まり、利用率100%を達成。タ ブレット端末を効果的に活用す るための周辺機器整備と、デジ タル教科書の継続的な学習環境 整備を進めていく。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
20	児童生徒の学ぶ機会 の充実	329,061	自然教室平均 参加率	65%	R11年度	60%		92%	子ども自然教室に対象学年の約 3割が登録、長期休暇中の参加 率は67~80%と高水準。郷土愛 醸成と居場所づくりに一定の評 価を得ている事業である。自 然・1次産業・加工品など町内 資源に直接触れる体験学習プロ グラムを充実させ、郷土への理 解と愛情の醸成を継続する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (4) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する

指標		数値目標		最終実績					
地元高校在学生徒数		R11数値 190人		156人					
(羽幌高校142人、天売高校14人)									
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)					施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価	
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計		達成率	事業の評価
21 人づくり事業	3,290,000	補助決定件数 (地域活動)	50件	R12.3まで	12件	12件	24%	人づくり事業として委員会を3回開催し、バレーボール指導者養成・ダンス人材育成・スノーボード・スキー等4件を支援、延べ60名以上が参加。国際交流では羽幌高校生8名が韓国訪問を実施。まちづくりに資する個人・団体への支援を継続し、令和8年度は韓国訪問団の受入実施により国際交流の双方向化を進め、地域活動の担い手育成と郷土愛の醸成を一層図る。 助産師・看護師就学資金貸付事業を実施したが、令和7年度は就職対象者・新規貸付申請ともに無し。ただし過去の貸付者は看護師として町内就職に結びついており、人員確保への貢献は継続している。高校等への制度PRを強化し、将来の町内医療機関への就職に繋がる潜在対象者を掘り起こすとともに、貸付制度の認知度向上のため広報媒体を多角化して周知を継続する。 保育士等修学資金貸付事業は予算300万円を計上したが、町内保育施設等に勤務予定の資格取得希望者がおらず、令和7年度実績はゼロ件。5年目標3件に対し進捗が大きく遅れている状況。高校生・大学生への制度周知を強化し、利用促進に努める。	・有効的であった ・有効的とは言えない
		貸付決定件数 (医療従事)	10件	R12.3まで	3件	3件	30%		
		貸付決定件数 (子育て人材)	10件	R12.3まで	0件	0件	0%		

地方創生関連事業 評価シート (4) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する

指標		数値目標		最終実績							
地元高校在学生徒数		R11数値 190人		156人		(羽幌高校142人、天売高校14人)					
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)							施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価	
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率	事業の評価		外部有識者からの意見	
22	介護向け人材の育成	2,150,000	補助決定件数	20件	R12.3まで	10件	10件	50%	介護職員の研修への補助事業を通じ初年度10件の補助決定実績を達成、5年目標20件に対し50%の進捗。地域ニーズを踏まえた制度運用ができています。各事業所・病院・高等学校への補助制度の周知を強化し、介護知識向上のための研修参加機会を拡大していく。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
23	高齢者向け生きがい対策	909,070	老人クラブ組織数	4団体	R11年度	4団体		100%	地区老人クラブ大会・スマイルボウリング大会等を実施し、目標4団体を維持。高齢者の地域活動参加促進に寄与している。老人クラブ連合会への補助を継続し、高齢者の居場所や活躍の場を確保するための活動支援を引き続き展開する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
24	障がい者及び高齢者等への支援	10,324,310	対象者利用数	70%	R7~R11平均	49%		70%	福祉ハイヤー利用券で対象者1,182名の外出機会を確保し10,206回の利用実績。利用率48.7%は目標70%に対し約7割の達成にとどまっている。利用券の使い勝手向上や周知方法見直し、対象者アンケートによる実態把握など、効果的運営を検討する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	

地方創生関連事業 評価シート (4) 第3期羽幌町まち・ひと・しごと総合戦略掲載事業

基本目標No.4 住み続けたいと思うまちを創生する

指標		数値目標	最終実績								
地元高校在学生徒数		R11数値 190人	156人		(羽幌高校142人、天売高校14人)						
事業名	実績額 (単位:円)	重要業績評価指標 (KPI)						施策の取組とKPIの分析評価、 今後必要な取組み	外部有識者からの評価		
		指標	指標値	目標年月	R7実績値	R7~R11計	達成率		事業の評価	外部有識者からの意見	
25	防災DXの推進	24,018,780	ハザードマップ訪問数	300 アクセス	R11年度	290 アクセス		97%	WEBハザードマップ訪問290件で5年目標300件にほぼ到達、ドローン購入と資格者2名養成を達成。防災DX施策が初年度から確実に進展している。WEBハザードマップへの「高潮」追加や利便性向上を進め、ドローン操縦可能な職員を増やすため資格者による研修を実施する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	
26	行政手続きオンライン化の推進	765,600	オンライン化対応手続き数	35 業務	R11年度	16 業務		46%	マイナポータルで7業務、LoGoフォームで8業務、合計16業務をオンライン化対応とし、公式LINEからの案内や勤労者研修センター予約も整備済み。住民利便性向上のため、オンライン化対応の手続きを随時拡大し、LINE等を通じた利用案内の周知をさらに強化する。	・有効的であった ・有効的とは言えない	